

# 歴史と自然と原発後の取組を知る旅 福島へ

## 1日目 歴史を感じる会津若松をひもとく

町民達が作った日本で最初の教育場「稽古堂」を母体とし、白虎隊が学んだ会津藩校が「日新館、難攻不落の名城とうたわれたのが「鶴ヶ城」です。

また会津には仏都としての一面もありますがその中でも「さざえ堂」は西国三十三観音を巡拝するための階段が螺旋構造になっており、昇りのスロープの天井が降りるスロープの床になっているとても珍しい建築物です。この様々な顔を持つ会津を「会津古城研究会会長石田明夫」氏にご案内して頂きます。お夕食は築100年の古民家を移築、再現した「志ぐれ亭」で地元の食材を主役にしたふるさと懐石料理を頂きます。



会津についての見識が深い石田明夫氏

## 2日目 喜多方で非公開の蔵をめぐる

喜多方市には日本の風情を今に残す重厚な蔵並が存在します。通常は非公開である蔵座敷や庭園を特別に所有する方に見せてもらいます。「生活クラブ」の日本酒の生産者である大和川酒造の美しい蔵も訪ねます。



大和川酒造の飯豊蔵

## 会津電力の取り組み

原子力発電の暴走を許容した社会の責任を次世代に引き継がせない理念のもと、再生可能なエネルギーだけで賄う事を目的とし設立され、生活クラブへも提供しています。この発電所を生産者である大和川酒造の会長であり、会津電力の社長である「佐藤 彌右衛門」氏に案内していただきます。

## 「ホテリ・アアルト」裏磐梯と北欧の調和を目指した宿

日本百名山の磐梯山、桧原湖、五色沼など、豊かな自然を有する裏磐梯の国立公園内に佇む自然とともに暮らす北欧を感じられるユニークな宿です。ハンス・J・ウェグナーのチェア、フィンランド人作家のオブジェなど、北欧の名作家が居心地の良い空間を作り出しています。



さざえ堂 外観



雄国発電所前に立つ「佐藤彌右衛門」社長



ホテリ・アアルト室内



ホテリ・アアルトの洗練された食事

## 3日目 裏磐梯の湖沼群をハイキング

磐梯山のダイナミックな景観や有名な五色沼に代表される湖沼群は約5万年前の巨大噴火、より明治21年の火山活動によってなされた景観です。現地のエコガイドさんの案内で景色のなぞ解きをしながら遊歩道の自然の話を聞きながら散策します。

## 皇族別邸「天鏡閣」

猪苗代湖畔の風光の美しさに魅せられ、有栖川宮威仁親王殿下によって建てられ、大正天皇が命名された洋館です。ルネッサンス様式の意匠をこらした館内は明治の香りを今に伝えております。



天鏡閣 宮家の別邸らしい優美な建物



「さざえ堂」は上りと下りが別々の二重らせん状の構造

旅行期間	2020年9月16日(水)～9月18日(金)		
旅行代金	2名様1室利用 お一人様 115,000円 1名様1室利用 130,000円 ※相部屋希望はお受けておりません。 21名様(最少催行人員14名様)	募集人員	21名様 (最少催行人員14名様)
宿泊ホテル	【1泊目】ガーデンホテル喜多方 【2泊目】ホテリ・アアルト		

1	8:45(前後)東京駅出発→JR東北新幹線→10:00(前後)郡山着→専用バスにて移動「日新館」→昼食→飯盛山「さざえ堂」・「鶴ヶ城」→夕食「志ぐれ亭」→ホテルチェックイン 食事:朝×・昼○・夕○【ガーデンホテル喜多方(泊)】
2	ホテル出発→喜多方「とっておきの蔵めぐり」・「大和川酒造」蔵見学→昼食→雄国太陽光発電所見学→ホテルチェックイン・お夕食は洋食の予定です 食事:朝○・昼○・夕○【ホテリ・アアルト(泊)】
3	ホテル出発→湖沼群見学→昼食→「天鏡閣」→17:00(前後)郡山駅出発→JR東北新幹線→18:30(前後)東京駅着 食事:朝○・昼○・夕×

スケジュールは天候状況、現地事情により日程の一部が変更される場合があります

- 添乗員/同行します。
- 食事/朝食2回 昼食3回 夕食2回(食事は山菜・お蕎麦・魚介類・肉類が入る予定です)
- 利用予定バス会社/喜多方観光バス同乗